

文部省
囑託

文學士 青木誠四郎先生著

全一冊

洋綴紙數五百五十頁餘
插畫八十餘
價 金三圓五十錢

送料 金拾八錢

最新刊

劣等兒
低能兒

心理と其教育

此憐れなる兒
童は如何に救
ふべき？如何
に教育すべき
？見よ！！

就兒童保護劣等兒 低能兒救済の高唱せらるる時、その系統的の研究の發表せられたるものなきは、我
に今や眞學篤學なる青木先生に依てその缺陷は充されたり。本書は第一篇序論、第二篇低能兒及劣等兒
の概念及其の特性、第三篇低能兒發生の原因及其の豫防方法、第四篇低能兒及劣等兒の教育の四篇を第
十七章百餘餘 心理學的生理學的の實驗研究を 取扱ひ教育の方法 等を挿入
多敷の圖畫を應用し懇切丁寧に詳説せられたるもの實驗講義を聽くに等し誠に斯學研究
の唯一寶典である。

文部省 普
通學務局編
好評三版

就學
兒童

保護施設の
研究

全一冊洋綴
紙數五百五十頁
插畫百餘
定價金參圓五拾錢
送料金十八錢

ハイル博士

文學士
福富一郎譯

教育心理學概論

全一冊洋綴
紙數五百頁
定價金參圓五拾錢
送料金十八錢

好評三版

我が心理學界の進歩は本書の原譯者ウヰリアム・ヘンリー・ハイル先生に負ふ所頗る多し。本書は教育過程凡ての段
階が科學的に基礎づけられればならぬ現代のことは唯一に嚴密なる實証的決定と云ふことに據て而已可能なこと
である。教育をより以上科學的にするてふ目的に向つて牛生の大努力を傾注せられたる名著本館と特撰の心理學は今や篤學なる福富
先生に據り完全に譯出ばなれり。然も文章又流暢簡麗讀者は是を一讀三讀せざるを得ざるべし就中文檢受讀者諸君は必讀研究を乞ふ

發行所 東京市神田區 中興文館書店 電話 四〇五五 七二八三

實 際 的 兒 童 研 究 の 威 權

東京帝國大學 文部部講師 文學士 久保良英先生撰

智 能 查 定 用 具

智能の測定が手軽に然も實際的に出来る唯一の用具

久保先生の改訂せる智能査定法は我が國各地の幼稚園小學校低能兒收容所感化院等に用ゐられてその眞價は一度これを使用したもの、贊嘆を博して居ることで分る今回智能査定用具を製作して益斯法應用者の便利を計ることになつた學校に於て兒童の精神検査に欠く事の出ない唯一の科學的智能査定用具である

著 野 陽 上

學 校 精 神 檢 査 法 指 針

四六版全二冊 洋綴紙數約三百冊畫數約三百餘

定價金 十圓 送料金 八圓

增訂七版 本書の内容は兒童研究法の指南書の一冊に盡き、憶・學習・發明・聯合・想像・注意・等の各種精神能力の發達がどの位の程度にあるかを測定する方を示し更に知力の程度を診斷する方法を説き其結果を始末する仕方を別にしたのが本書である

著 野 陽 上

兒 童 心 理 學 精 義

全紙挿畫 洋綴紙 八五冊 定價金 十圓 送料金 七圓

好評七版 先生野陽上野心理學研究會を創設し斯研究する正に十年その學に忠實なる世既に定評ありその間先生の著書諸種益する事最學界の等涸望して止まざりし本書は成れり兒童觀の變遷と文明の進歩兒童研究の方法的學界を多し今や能の心理及教育・本能と教育兒童の遊び・兒童の言語・兒童繪畫製作・兒童の繪畫玩賞・習慣の生理及び心理・精神の發生と發達・身體上の異常兒・智能上の異常兒・徳性上の異常兒・心身發達の根本主義等二十三章幾百節に分ち詳論精銳を加へ多數の挿畫を以て學者研究の材料に資すべく努め教育者ある士の必讀を乞ふ就中 文檢受驗者すべき絶好の 受驗資料である

斯界唯一の良參考書なり學校

發行所 東京市神田區中區 文庫館書店 電話 東京 四三〇五 田代 四三〇五 神戶 四三〇五 田代 四三〇五 電話 東京 四三〇五 田代 四三〇五 神戶 四三〇五 田代 四三〇五